

顧客資産の新たな保全スキームを構築

取引参加者	現行	新信託スキーム導入後
顧客	<ul style="list-style-type: none"> 信託保全の不完全性 (FX会社に預けた証拠金の保全までに数日のタイムラグあり) FX会社による信託保全の不正行為が完全に防止できる仕組みではない 	<ul style="list-style-type: none"> 信託保全の完全性の補完 (FX会社に預けた証拠金の保全までのタイムラグを短縮) FX会社による信託保全内容の透明化による不正行為の防止
FX会社	<ul style="list-style-type: none"> 顧客取引増加による資金繰り負担がネック 信用リスク懸念による資金調達の困難化 	<ul style="list-style-type: none"> 資金繰り負担の軽減 信用リスク低減
銀行	<ul style="list-style-type: none"> 銀行への取引フローの伸び悩み 為替差益の受取不能リスクへの懸念 取引先のリスク管理のための材料が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> 取引フローの増大 為替差益の受取不能リスクの低減 取引先のリスク管理が容易に

SBIグループが提供する信託スキームを活用した革新的なソリューションを導入!

新商品リリースと同時に、新たな信託契約を締結!

新商品「レバレッジ付き定期外貨取引」には、実は一般のFX会社では提供が困難な理由がある。詳細は後述するが、「では、なぜSBI FXトレードでは実現できるのか?」という疑問をお持ちの方もいるだろう。その答えが、同じくSBIグループの「FXクリアリング信託株式会社」が提供する新たな信託スキームであり、同社との間で12月10日付で信託契約を締結する予定である。

なぜ、「レバレッジ付き定期外貨取引」の実現には、FXクリアリング信託の信託スキームが必要なのか?

前頁にて取り上げた「レバレッジ付き定期外貨取引」においては、その取引の性質上、顧客のポジションが長期的に積み上がり続けることとなる。

一方、顧客ポジションのカーブ取引を行うFX会社においては、カーブ取引の相手方である銀行等との取引ライン維持に係るコストが近年上昇傾向にある。極論になるが、顧客ポジションに上限がない以上、FX会社が負担するコストも制限できないため、一般の

FX会社では、通常、提供することが困難な商品だと言える。この問題を解決するのがFXクリアリング信託の提供する信託スキームであり、同社の発足によって、SBI FXトレードは資金繰りを懸念することなく「レバレッジ付き定期外貨取引」の提供が可能となったのである。

FXクリアリング信託設立の背景にはこんな業界事情も

世界に冠たる金融商品にまで成長を遂げたFX市場だが、昨今の金融情勢の変化にとまらぬ、更なる市場拡大を実現させるためにはクリアすべき課題を抱えているのが現状だ。

例えば、現行のFXに係る信託規制については、顧客資産が実際に信託保全されるまでタイムラグがあり不完全な面がある。また、前述のとおり、FX会社にとっては、顧客取引が増え続けることも、資金繰り負担がネックとなることから、取引フローの拡大には慎重にならざるを得ない。この点は、実際に建玉制限を設けているFX会社が数多いことから明らかである。

「FXクリアリング信託株式会社」が提供する信託スキームは、こうしたFX業界全体が抱える課題を払しょくす

商号	FXクリアリング信託株式会社「FX Clearing Trust Co.Ltd.」
登録番号	関東財務局長(信)第12号(登録年月日:平成27年5月25日)
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー19F
代表者	代表取締役社長 星 典彰
設立日	2014年7月14日
事業内容	外国為替証拠金取引に係る取引参加者の資産保全を目的とした管理型信託業
URL	http://www.fxclt.co.jp

FX Clearing Trust

FX取引は、元本や利益を保障するものではなく、相場の変動等によって、お預けになった証拠金以上の損失が出る可能性もございます。お取引に際しては、「契約締結前交付書面」等をよくお読みの上、取引内容や仕組み、リスク等を十分ご理解いただき、ご自身の判断でお取引ください。SBI FXトレード株式会社 関東財務局長(金商)第2635号 一般社団法人 金融先物取引業協会(会員番号1588)

12月10日リリース! FX業界に画期的な新商品が登場!

定期的な長期運用を実現する「レバレッジ付き定期外貨取引」

【投資シミュレーション】(数値および金額は概算)

レバレッジ付き定期外貨取引 (1年保有)

- 1ドル=120円のと看
投資金額120万円で1万ドルを購入
→レバレッジ1倍
- 1年後に全額を売却
※売却時の為替レートは購入時と同じ 1ドル=120円の場合
- スワップ収益
1日あたり4.67円
(4.67円x365日=1,704円)(税引前)
※スワップレートは2015年11月10日~11月16日の1日平均
- 取引時コスト(スプレッド)
往復で1,000円

トータル収支(税引前)
1,704円-1,000円=プラス704円

ドル建て外貨定期預金 (1年満期)

- 1ドル=120円のと看
投資金額120万円で1万ドルをドル定期預金
- 1年後に全額を売却
※売却時の為替レートは購入時と同じ 1ドル=120円の場合
- 1年物ドル金利
0.05%
(10,000ドルx0.05%=5ドル
5ドルx120円=600円)(税引前)
※11月中旬のメガバンクの場合
- 取引時コスト(手数料)
往復で20,000円(片道1万円x1万ドル)

トータル収支(税引前)
600円-20,000円=マイナス19,400円

レバレッジ付き定期外貨取引の商品性を一言で表すと銀行の外貨預金に近いと言える。もともと、FX(外国為替証拠金取引)取引でレバレッジを1倍にしてポジションを持つと、外貨預金の様な使い方ができ、外貨預金よりもメリットが多いことは知られていたが、効率的な運用を行うには、常に為替相場を見ていく必要がある。だがこの商品では、

FXのメリットを最大限生かしながら、外貨預金の様に簡単に取引できる点が面白い。特徴は、定期的に外貨を購入できる点にある。毎日、毎週、毎月の3パターンから買付のタイミングを選ぶ事で、ドル円なら円安に振れた場合は利益を得る機会に、円高に振れた場合は損失となるが、安く多く買付けられる機会に生かせるメリットもある。

さらに、資産が全額守られる安心感も大きい。外貨預金は金融機関が破綻した場合、預金者の預金を保護する預金保険制度の対象外だが、この取引では信託会社に全額が信託保全されるので、万が一運用先の会社が破綻しても顧客資産はすべて守られる。注目の新商品が、12月10日にいよいよリリースされる。

①「定期外貨購入」

1年先の為替レートを言い当てる事は、プロでも至難。毎日購入、毎週購入と定期的に購入することでドルコスト平均法からリスク分散が可能。

②制限時間付きでレートを固定

目まぐるしく動く為替レートには、敷居の高さを感じてしまう。レートを暫く止めて考えられるからこそ、納得のいく取引ができる。

③レバレッジは最大3倍まで

プロの投資家でも、リスクの許容度には敏感。投資効率を低く設定する事で、過剰なリスクを防止。

④1ドルから購入できる気軽さ

毎月少しずつ積み立てる場合には、1ドルから取引できるメリットを実感できる。

